

横田基地における演習の実施等について（口頭要請）

令和5年10月11日（水）に北関東防衛局から「令和5年10月16日（月）から同年10月27日（金）までの横田基地における演習の実施等について、日曜日を除く24時間体制で行い、航空機の運用や、PASの使用に加え、GBS、バッシュキャノン、煙幕等及び空包を使用する場合があります、特に10月20日（金）から25日（水）の間は大きな音が発生する場合があります。この他、10月19日（木）午前10時から正午までの間、約35名の模擬抗議集団の対応演習が行われる予定。なお、一部訓練において自衛隊が参加予定」との情報提供を受けた。

従前より、当協議会からは、土曜日、日曜日、日本の祝日等において、航空機の飛行等による騒音を発生させないことや、通常の運用時間帯以外での訓練を極力実施しないよう求めてきた。

夜間早朝に行われる航空機の運用やPAS等の使用による騒音は、横田基地周辺の住民の睡眠等が妨げられるなど、その影響は非常に大きなものであり、健康被害や不安の増大につながるものである。

こうした周辺住民の生活環境への影響を踏まえ、次のとおり要請する。※

- 当該期間には、土曜日、日曜日が含まれていることから、騒音の発生について特に配慮すること。
- 市街地上空での低空・旋回飛行訓練は行わないこと。
- 夜間早朝に航空機の運用やPAS等の使用を行わないこと。
- 通常の運用時間帯以外での訓練を極力実施しないこと。
- 使用する航空機においては、安全対策の徹底を図り運用すること。
- 周辺住民への不安軽減のため、特に、通常の運用時間帯以外で実施される騒音を伴う訓練については、その詳細な日時等について情報提供を行うこと。

※国に対しては、「貴職に置かれては、こうした周辺住民の生活環境への影響を踏まえ、訓練に関わる自衛隊に周知するとともに、次のとおり米軍に改めて申し入れを行うよう要請する。」と要請。

令和5年10月13日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー L. ラダン 大佐 殿

北関東防衛局長 二又 知彦 殿

横田防衛事務所長 中村 敦 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	羽 村 市 長	橋 本	弘 山
	立 川 市 長	酒 井	大 史
	昭 島 市 長	白 井	伸 介
	福 生 市 長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	山 崎	泰 大
	瑞 穂 町 長	杉 浦	裕 之

(参考)

- P A S (Public Address System) :パブリック・アドレス・システム
大音響の出る特殊なスピーカを使用し、サイレンや広報を行なう。
- G B S (Ground Burst Simulator) グラウンド・バースト・シミュレーター
地上爆発模擬装置。金属製の容器内で爆発物を破裂させ、爆発音を発生させる。
- バッシュキャノン (Bash Cannons) :滑走路上の鳥を追い払うための、疑似音を出す装置